

学校教育目標	学びあい 認めあい 支えあい 夢をはぐくむ あいざわっ子 【知】自ら考え 学び続ける子を育てます 【徳】自分も 周りの人も 大切にすることを育てます 【体】進んで 健康的な生活をする子を育てます 【公】自分の役割を考えて 行動する子を育てます 【開】目標に向かって ねばり強く取り組む子を育てます			
	学校概要 創立 56 周年 児童生徒数: 303 人	学校長 宮路 ますみ 主な関係校: 東野中 二つ橋小	副校長 須山 健太郎	学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 6

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	東野中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力 持続可能な社会の創造に貢献する力	東野中 二つ橋小 相沢小	夢や目標をもち自分らしさを発揮しながら、主体的・協働的に生き抜こうとする子ども ○部活動体験や行事を通じた生徒・児童の交流 ○小中合同授業研究会における中学校教員と本校教員との交流 ○小中連絡会の定期的開催による情報共有と一貫した児童生徒指導の実践

中期取組目標 学校教育目標を実現するために「だれもが安心して生活できる、活気のある、笑顔あふれる学校づくり」を目指します。 ○職員が主体的に学校運営に参画し、互いに連携・協働し合い、活気にあふれた学校運営組織を確立します。 ○学習の基礎基本を身につけ、粘り強く学習に取り組む子を育てます。 ○一人ひとりの子どもが認められ安心して生活・学習できるように、児童理解・児童支援体制、特別支援教育を充実していきます。 ○小中一貫推進ブロックや地域、家庭との連携を更に深め、信頼される学校づくりを推進します。
--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 学力向上委員会	①家庭学習のねらい(本校の場合は反復練習の大切さ)を教職員と保護者で共通理解することで、家庭学習の習慣化を図る。②学習の中で「ふり返り」に重点をおき、知識・理解の定着とともに、自己変容への気付きのある「ふり返り」を目指す。
徳 道徳教育 担当 道徳部	①いのちの学習や道徳科の授業、人権、ピアサポートの取り組みを成長段階に応じて進めていく。②人権週間の取組に系統性をもたせ、6年間を通して人権について学べるようにする。
体 健康教育 担当 体育部	①アウトメディアについて、児童の実態をつかみ、ニーズに合った指導ができるようにする。保護者の協力を得るために具体例を挙げて情報を提供する。②体力を高めるための具体的な取組を、児童と共に考え実践する。
公 自分作り教育(キャリア教育) 担当 教務部	①ペア学年の活動を継続する。活動で自分に付いた力や課題に気が付けるよう、めあてや視点をはっきりさせて活動や振り返りを行う。②ペア学年だけにこだわらず学校全体で交流がもてるよう、学習での交流や集いのもち方など工夫をする。
いじめへの対応 担当 児童指導	①いじめにつながるような情報について学年や専任と共有し、チームで解決につなげていく仕組みを継続する。②いじめ発生時はスピーディーに対応し、発生前から発生後、解決までの記録を残し、解消時期の検討に生かす。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部	①メンター研に職員全体が関われるよう日程の設定等を工夫し、研修の軸を決めて取り組み、フィードバックすることで全体が研修に関わっていく。②ミドルリーダーがそれぞれの役割や立場に責任をもち、積極的に学校運営に関わる。③学年やブロックで教材等を共有しながら運営していく。
地域学校協働活動 担当 教務部	①過半数の職員が昨年度発足した学校運営協議会と関わりをもち、学校と地域の連携を図る。②地域の人材を教育活動に生かすため、各学年での地域との関わり方や、どんな方と関わったのかなどを記録に残し、整理して次年度以降も地域の材の活用が継続できるようにする。
特別支援教育 担当 特別支援ブロック	①指導の方向性を共通理解し、職員間の情報共有を行い、子ども達を見守る。また、適切な支援を行えるよう関係機関と連携をしながら進めていく。②スキルアップ教室、国際教室、個別支援学級との連携を深め、個に寄り添った支援を行う。③必要に応じてSCやSSWと情報共有の時間を確保し、個に応じた支援を行う。
児童生徒指導 担当 児童指導	①相沢スピリッツを徹底し、一貫した指導をする。今月のスピリッツを具体的に示し、取り組みやすいように工夫する。②今年度から変更される日課表に慣れ、生活のリズムをつかめるように支援する。
多文化共生 担当 国際	①外国につながる児童の心に寄り添いながら学習・生活の支援をする。②母語支援ボランティア、やさしい日本語ボランティアの活用により基礎学力の定着・向上を目指す。③外国につながる児童やルーツのある国、国際教室の運営や指導内容等の情報を発信する。教職員の異文化理解、校内の多文化共生を目指す。